



校長室だより

R6. 3. 8. 号

岐阜市立東長良中学校

令和5年度 卒業式 式辞

寒さも幾分和らぐこの良き日。新型コロナウイルスも5類となり、本日在校生及び保護者の制限のない卒業式を迎え、ただ今卒業生の皆さんに卒業証書を授与いたしました。改めて、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご卒業、おめでとうございます。本校での3年間で、お子様が立派に成長されました。これまでのご理解とご協力にお礼申し上げます。また、ご来賓として、PTA会長 右高 英一(みぎたか えいいち)様はじめ学校運営協議会の皆様にご出席賜り、心よりお礼申し上げます。

コロナ禍での中学校生活。いろいろ制約があって、思うような活動ができなかったスタート。3年生になり、1年間でそれまでの不足分を補ってあまりある充実した1年を過ごせたように思います。

何とんでも、修学旅行が印象に残っています。皆さんは、新型コロナウイルスの影響もあって小学校で修学旅行が経験できませんでした。最終日、新幹線が小田原駅で止まりました。皆さんが安全に帰宅できることはもちろん、人生初となる修学旅行が楽しかったと思えるようにする、そこに尽きました。厳しい決断もありましたが、新幹線内での仲間を思いやる姿、急遽宿泊したホテルでの生活、疲れを吹き飛ばす笑顔。皆さんに救われました。私も一生忘れられない経験となりました。

学級や生徒会の活動では、部班活動や委員会の常時活動など日頃の生活をささえる地道な活動をひたむきに継続すること、そんな姿が印象的です。自分自身だけではなく、周りの幸せのために働く。それが多くの人の安心や幸せにつながり、東長良中学校を支えました。

学年の枠を超えるという発想で、新たなことにもチャレンジしました。スポーツフェスタは学年ごとの開催となりましたが、そこに全校種目を入れて学年をつなげる工夫があり、全校のみんなで楽しい時間を共有しました。東長良祭の学年の枠を超えた交流。前夜祭での下級生の発表を見守る温かくも真剣なまなざし。ハーモニーフェスタでの下級生にこれぞ最高学年と思わせる合唱の披露。1年生の合唱公開で学年合唱をたたえる皆さん、部活動など、下級生から慕われる上級生でした。

以下の2つは、知ってのとおり本校の特色です。

小集団を中心とした授業。変わりつつある学びのスタイル。始めるにあたっては、先生たちにもこの方向でよいのかという不安はありました。日頃の授業で学び合う姿、かつての東長良中を知る人から、生徒の表情が柔らかくなった。学び合う姿が素晴らしい。小集団による学び合いを始めて3年目。皆さんはまさしくその基盤となった学年で、進むべき方向は間違えではなかったと、皆さんの姿が答えとなりました。

HERO プロジェクト。一人一人の居場所と幸せを大切にしている取組は、授業や委員会活動などの日常や行事などすべての活動に浸透していました。「あなたの学校で大切にしていることはありますか。」と尋ねたら、おそらく本校の生徒全員が「協・優・敬・怒」の4つの心を答えることができるでしょう。そんな学校は、他にはないととても誇らしです。

最後に、皆さんへお願いです。東長良中学校では普通であるこれらのことは、この先の高校や一般社会ではまだまだ当たり前にはなっていません。温かな集団ばかりではありません。理不尽なこともあるかもしれません。戸惑うこともあるでしょう。しかし、皆さんは小集団による学び合いにより、「仲間と協同することで、一人でできることを超えることができること」、**HERO** プロジェクトにより、「協・優・敬・怒」の4つの心を働かせることが、自分や周りの人の一人一人の居場所と幸せにつながることを学びました。本校で培った力で乗り越えてほしいです。本校での取組が皆さん一人一人の力になることこそが私たちの願いです。

これからも、本校の卒業生として、「協・優・敬・怒」の4つの心を大切に、中学校生活を上回る素敵な経験をして、自らの幸せに向かって歩んでください。